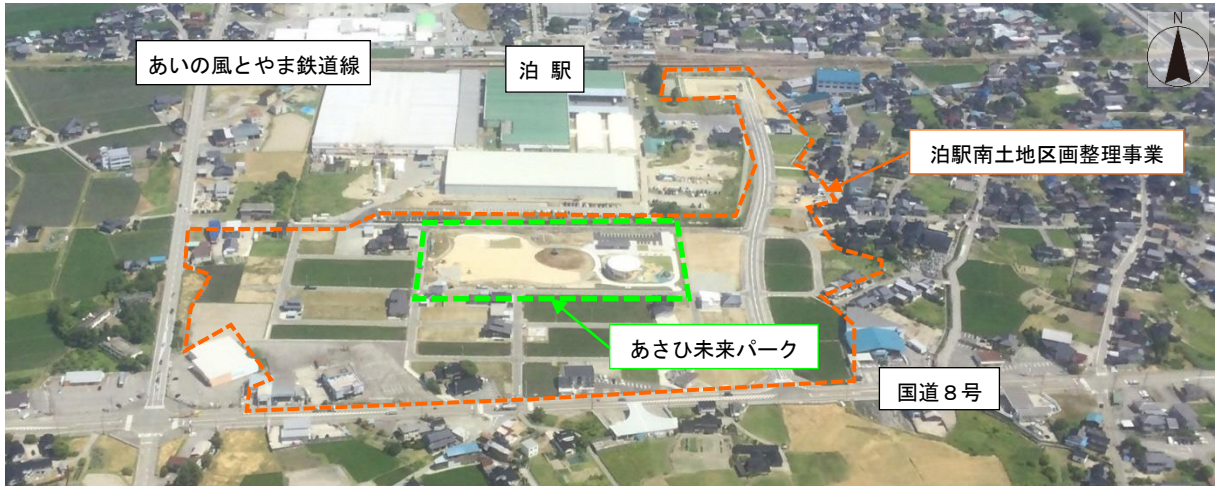


1. あさひ未来パーク

あさひ未来パークは、泊駅南における土地区画整理事業で計画されていた公園と調整池に加え、町が周辺の保留地を購入し、合わせて1.5haの公園として整備するものです。

令和2年度に有識者等で構成する検討委員会を立ち上げ、「まちなかで子どもたちが安心して遊べる公園の創出」を公園の整備方針としました。令和4年度からは、地域住民とのワークショップを重ね、公園の遊具や利活用方法などに関するアイデアを設計に反映し、整備を進めてきました。



あさひ未来パーク周辺図

2. 遊具広場の部分開園

令和6年度から工事に着手し、令和8年2月には、公募により公園の名称を「あさひ未来パーク」に決定しました。そして、令和8年5月2日に約0.5haの遊具広場を部分開園しました。

遊具広場の特色として、「春の四重奏」や「ヒスイ海岸」といった朝日町特有の景観と調和したデザインを取り入れているほか、障害の有無にかかわらず、誰でも幅広く利用できるインクルーシブ遊具も設置しています。



開園セレモニーの様子



「春の四重奏タワー」と
乳幼児用エリア



「ヒスイ海岸」をイメージ
したスロープ

3. 全体開園に向けての整備

部分開園後は、町内外の多くの方にご利用いただいています。

現在、令和9年度の完成を目指し、公園西側約1.0ha部分で、芝生広場や園路舗装等の工事を進めています。また、整備中も、公園内の足つぼコースに使用する石を地元児童とともにヒスイ海岸で集めるなどのイベントを実施しています。今後も、町民の皆様にも愛され、親しまれる公園づくりを進めていきます。



公園全体イメージパース

富山地方鉄道本線高架化工事の進捗報告

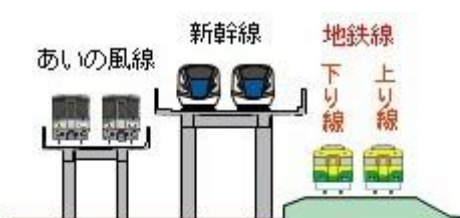
富山県都市計画課新幹線・駅周辺整備係 谷 宗行

富山駅周辺においては、平成31年3月にあいの風とやま鉄道線とJR高山本線の高架化を完了し、令和元年度からは富山地方鉄道本線（事業区間約1.0km）の高架化工事を進めています。現在、高架橋がほぼ完成し、今後、駅舎建築や軌道工事が本格化します。

【地鉄線施工手順】

① 着手前
(令和元年)

北 新幹線 地鉄線 南



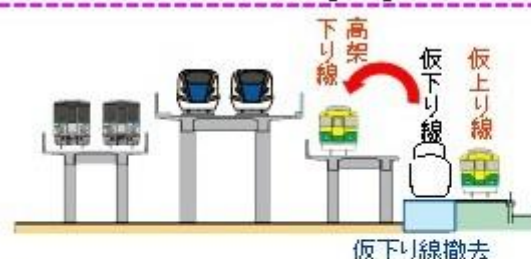
② 仮線構築
現在線を仮線に切換



③ 現在
(令和5年度～)



④ 下り線高架切換



⑤ 上り線高架切換



⑥ 仮上り線撤去、高架下整備後に事業完了

連続立体交差事業は、大都市圏以外においては、いわば100年に1回の大事業です。こういった貴重な現場を実際に見て頂く機会として、当係では年に数回、大学や関係団体等からの依頼を受け、現場見学会を開催しております。富山地方鉄道㈱と調整のうえ、エスタビル屋上から立山連峰を背景とした施工中の現場や、新幹線等の発着を見ることができますので、係までお問合せ下さい。



現況（R8.6）

なお、富山駅周辺では、複数の大型業務施設の建設が同時進行しています。Dタワー富山（2024年竣工）、ほくほくFG本社ビル（2028年9月竣工予定）など、富山市の都市景観は大きく塗り替えられようとしています。米紙ニューヨーク・タイムズの「2025年に行くべき52カ所」に富山市が選ばれたことによるインバウンド（訪日客）の増加で人流が増えています。また、地価の上昇が続いています。

富山駅周辺地区が活力と賑わいのある都市空間となるよう、引き続き、富山市と連携しながら事業に取り組んでいきます。

先進的な都市計画事業に取り組む自治体の視察を通じて、都市計画に関連する見識を深め、県内各自治体のまちづくりに活かすことを目的とし、令和7年11月12～14日に、18名（市職員15名、県職員3名）で高松市、松山市及び愛媛県を視察しましたので報告します。

○サンポート高松地区都市再生整備事業・高松丸亀町商店街再開発事業（高松市）

～官民共創や市街地再開発事業による活力とにぎわいあるまちづくりを推進～



道路空間の再整備（プロムナード化）



再開発事業によるガラスドーム整備

○歩いて暮らせるまちづくり（花園町通り・ロープウェー街・松山市駅前広場）（松山市）

～コンパクトで質の高い都市形成を推進～



車道縮小（4→2車線）による歩行者空間拡大



交通・交流拠点となる松山市駅前広場整備

○JR松山駅付近連続立体交差事業（愛媛県）～連続立体交差事業による駅舎の整備～



R6.9 高架切替え、新駅舎開業



高架下空間の有効活用（商業開発）